Nipron
GAZE into the future



Nipron Wave

Vol.85 2026 Autumn







ここが見どころ！

1 再生可能エネルギー活用特集

PV Oasisのデマンド抑制機能により最大デマンドを低減し、電気料金削減に貢献
公共インフラ向け停電対策もご紹介

2 壁面太陽光発電特集

建屋壁面への太陽電池設置とPVマキシマイザーの活用をご紹介

本社・阪神夢工場にて
様々な実証実験実施中
太陽光発電・自家消費システム
PV Oasis



工場生産設備などで自家消費

本社・阪神夢工場において、「PV Oasis」を活用した太陽光発電の自家消費システムを導入しました。導入は二段階で実施し、まずデマンド制御システムを構築。その後、停電対策および自家消費を目的としたシステムを増設することで、BCP対応と再エネ自給率を高める計画です。

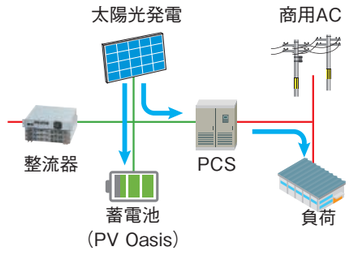
各種再エネ製品　自社工場にて実証実験中　http://www.nipron.co.jp

最大デマンドを抑制し、電気料金の削減が可能!
PV Oasis ピークカット デマンド抑制

システム動作イメージ

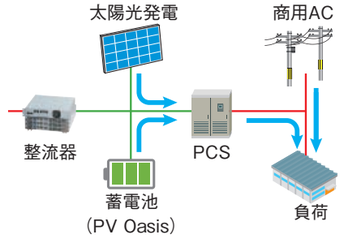
オフピーク時

オフピーク時は太陽光発電の電力を自家消費し、余剰電力を蓄電池に充電します。



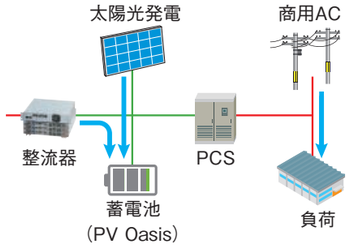
デマンドピーク時

ピーク時には、太陽光発電の電力を自家消費すると同時に、蓄電池からも電力を供給しデマンドピークを制御します。

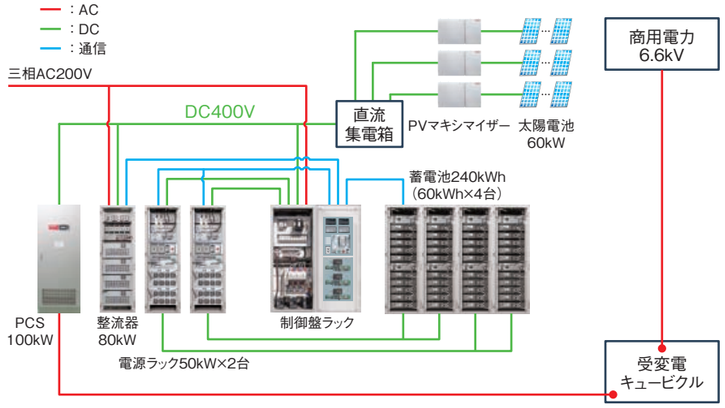


オフピーク時（強制充電時）

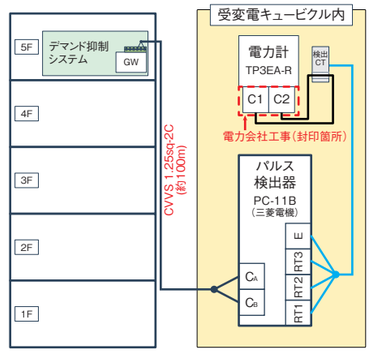
オフピーク時、太陽光発電だけで充電電力が不足する場合は、整流器からの強制充電も可能です。



システム構成



パルス検出器配線図



遠隔監視・制御システムで各種設定が可能

遠隔監視・制御システム「PVガードミャン」により、パソコン等からインターネット経由で、目標デマンド値やデマンド制御を行う期間などを設定できます。



デマンド設定画面イメージ

特長

- デマンド抑制用の充電は、時間指定充電機能により、建屋の消費電力が少ない夜間などに行うことが可能
- 目標デマンド値を1kW単位で設定可能

PV Oasisのデマンド抑制で電気料金を削減！　http://www.nipron.co.jp

停電などの非常時にも、公共インフラの安定運用を支えます

停電対策
脱炭素化推進
電気料金削減

公共インフラ向け再エネ蓄電システム「PV Oasis」

太陽光発電を活用する自家消費型蓄電システム「PV Oasis」により、再生可能エネルギーの自給率を高め、電力コストの削減や停電対策に貢献します。





公共施設・庁舎

⚠ **災害対応機能への支障**
防災拠点の機能停止により、災害対応活動に支障が生じます。



通信基地局

⚠ **情報収集・連絡手段への影響**
通信基地局の機能停止により、情報収集や連絡手段に影響が生じます。



水道施設

⚠ **給水・排水への支障**
水道施設の機能停止により、給水・排水に支障が生じます。



避難所・防災拠点

⚠ **長時間停電時の燃料確保・補給への支障**
非常用発電機の燃料確保や補給が困難になる可能性があります。

※画像はイメージです。

PV Oasis運用事例 停電発生中にも稼働し続けた工場

2026年3月4日午前9時ごろ、三重県南東部の伊勢市、松阪市などで大規模停電が発生し、最大約19万8千戸に影響が出ました。当社三重スマート夢工場では、PV Oasisによる自立運転により、停電発生中も設備への電力供給が途絶えること無く安定稼働を継続しました。
（詳細はNipronWave83をご参照ください。）



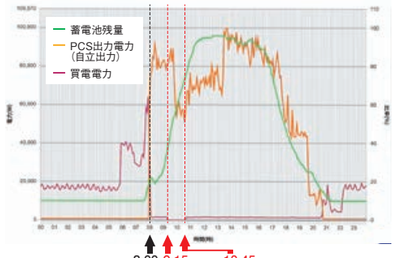


当日の発電状況



東面に増設した太陽光パネルが早い時間から発電を開始

停電時の運転状況

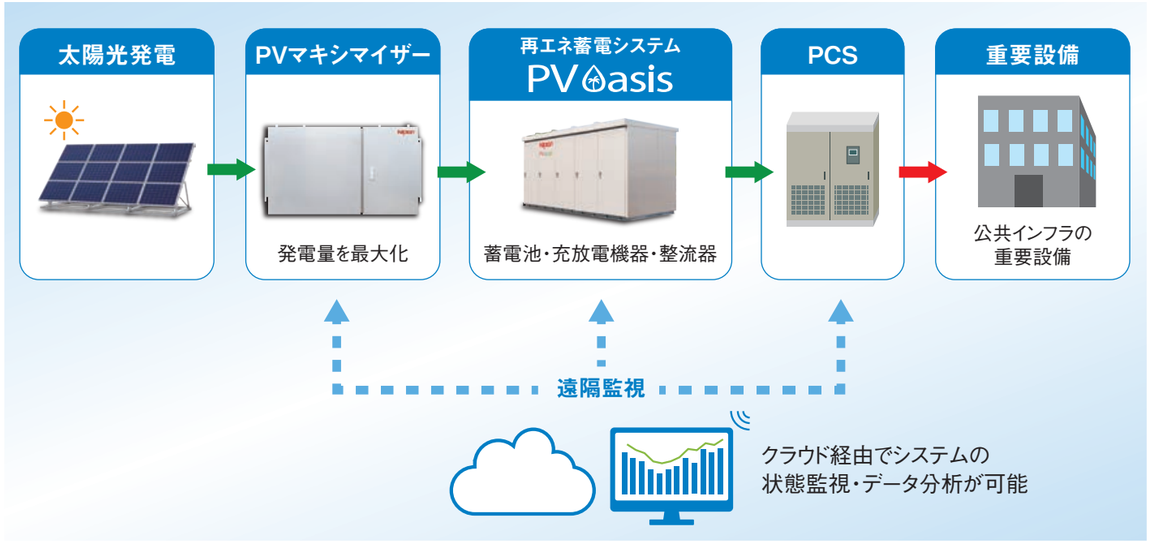


8:00 自立運転切替　9:15 停電発生　10:45 停電復旧

公共インフラに最適！PV Oasisで設備停止リスクを低減　http://www.nipron.co.jp

システム構成

太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電し、必要な際に放電し活用するキュービクル型太陽光発電・自家消費システムです。
必要な機器はキュービクル内に内蔵・配線されており、現地での電気工事を最小限に抑えます。



運転イメージ

平常時

太陽光発電の余剰電力を有効活用し、最大デマンドを抑制して電気料金の削減に貢献します。

1. **太陽光発電を優先利用**
   発電した電力を施設内で利用します。
2. **余剰電力を蓄電**
   余った電力を蓄電池に充電します。
3. **必要な際に放電**
   電力ピーク時に蓄電池から放電します。
4. **最大デマンドを抑制**
   最大デマンドを抑制し、契約電力を下げることができ、基本料金を低減することが可能です。

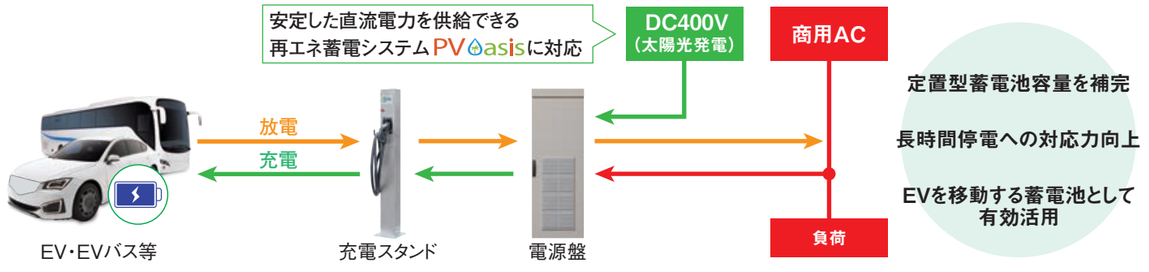
停電時

停電などの非常時には、太陽光発電と蓄電池から電気を供給します。

1. **自立運転へ自動切替**
   商用電源の停電を検知し、自立運転に切り替わります。
2. **太陽光発電・蓄電池から給電**
   太陽光発電と蓄電池の電力を重要負荷へ供給します。
3. **重要負荷の継続運用**
   公共インフラに必要な設備の運用を継続します。

V2X対応EV充電器（開発中）で災害対応力を強化

EVを「移動する蓄電池」として活用し、定置型蓄電池を補完することで、長時間停電への対応力をさらに高めます。



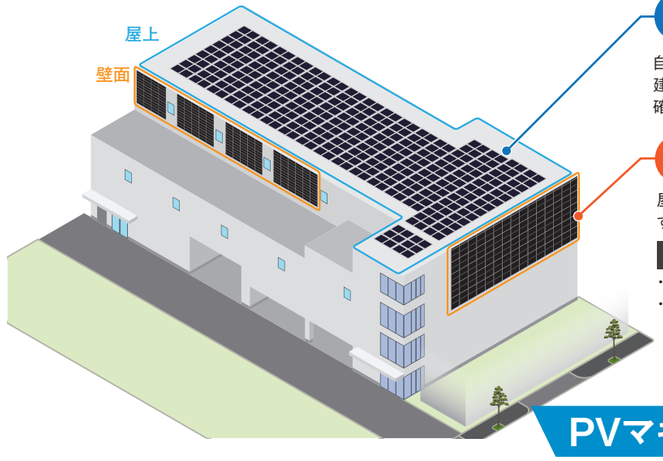
EV充電器のV2X対応により災害対応力を強化　http://www.nipron.co.jp

建屋の壁面が
新たな太陽光発電スペースに



※太陽電池の種類・配置はイメージです。

発電スペースの拡張イメージ



1 屋根上を発電スペースとして活用

自家消費を行う際は、建屋の屋根上に太陽電池を設置し、発電した電力を建物内で活用します。屋根上のスペースを有効活用することで、発電電力を確保します。

2 壁面も新たな発電スペースとして活用

屋根上だけでは十分な発電量を確保できない場合でも、建屋の壁面を活用することで、太陽光発電容量を増やすことができます。

課題

・方位や時間帯による発電特性の違いから、ストリング間で発電ロスが発生
・異なる太陽電池を活用する場合、発電特性が異なることへの対応が必要

壁面設置の課題を
PVマキシマイザーで解決

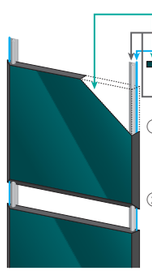


本社・阪神夢工場にて壁面太陽光モジュール設置実証試験を開始

本社・阪神夢工場にて、結晶系太陽電池を用いた壁面設置の実証試験を開始します。
ワイヤー懸架方式により、建物壁面への太陽電池設置について施工性やメンテナンス性などを検証します。



※設置イメージ

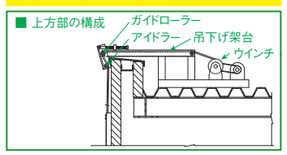


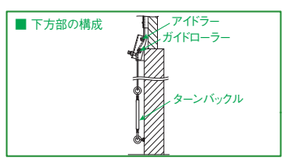
①懸架ワイヤー（グラスファイバー製・引張強度970kg）
2本でパネル重量を保持します。
※パネル重量約6kg/1枚

②壁面固定レール（アルミ製）で負風圧対策を行っています。

ワイヤー懸架方式のため、メンテナンス時は地上での作業が可能です。

特許出願中 特願2026-041830





屋根上から壁面へ、太陽光発電の設置スペースを拡大 http://www.nipron.co.jp

太陽電池の壁面設置にはPVマキシマイザーが最適



発電効率を最大化
ストリング単位の電力制御により、それぞれの発電能力を最大限に引き出します。

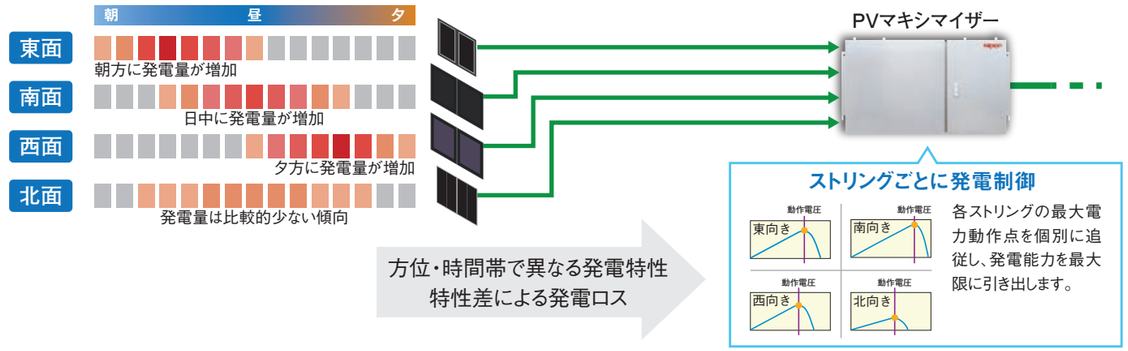
向き違い、方位違いに対応
設置角度や方位が異なる場合でも、ストリングごとに最適な電圧に制御します。

異種モジュールの混在に対応
電圧の異なる太陽電池も、ストリングごとに電圧を調整して接続できます。

PCSの電圧マッチング
太陽電池の電圧をPCSの入力電圧範囲まで昇圧できます。

01 方位・日射条件の違いによる発電ロスを低減

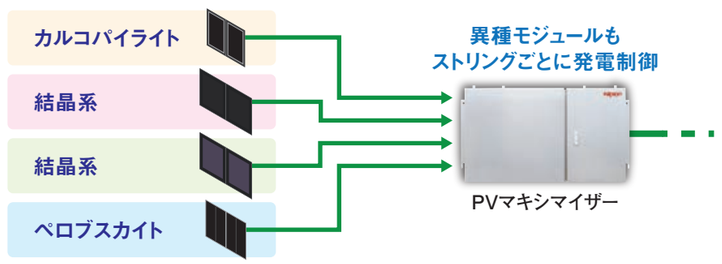
PVマキシマイザーが各ストリングを個別に最適制御することで、それぞれの発電能力を最大限に引き出します。



※方位・時間帯による発電傾向を示すイメージです。実際の発電量は天候・設置条件・周辺環境などにより異なります。

02 異なる太陽電池の混在に対応

特性の異なる太陽電池を組み合わせた場合でも、PVマキシマイザーがストリングごとに発電制御を行い、出力先で電圧を揃えることで、発電特性や電圧の異なる太陽電池も活用できます。



建物の屋根・壁面など様々な設置環境に対応 http://www.nipron.co.jp

システム納入事例

株式会社アガタ 様



PVマキシマイザー


蓄電システム

富岡再エネデータセンターに
PVマキシマイザーをご採用頂きました！

『富岡再エネデータセンター』は、株式会社アガタ様が保有している脱炭素型データセンターです。環境省のPPA活用等による地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業（新設部門）に採択されています。太陽光発電と蓄電池を活用し、夜間や雨天時でも最低8時間は蓄電池からの電力供給で運用が可能です。使用電力の30%以上を再生可能エネルギーで賄い、年間500tを超えるCO_2の削減を目指しています。

太陽光発電所を併設した脱炭素型データセンター

データセンターのレジリエンス強化にも貢献


▲ 蓄電システム外観

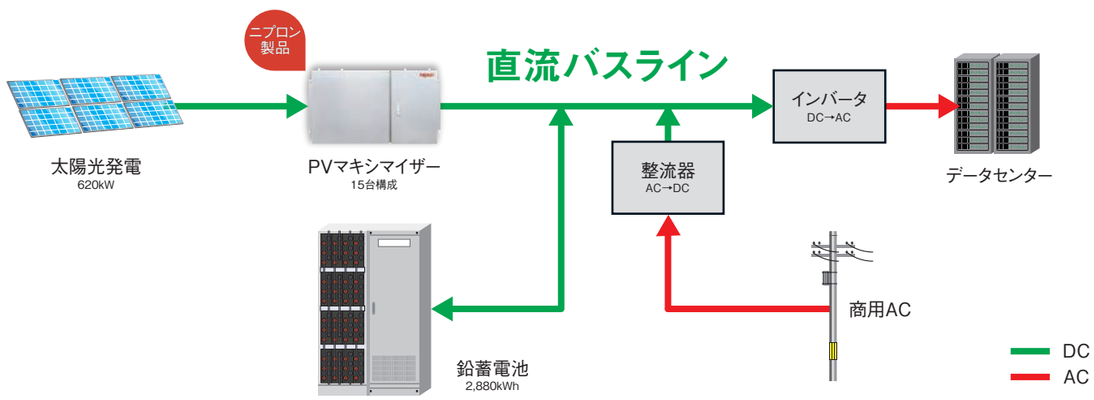
富岡再エネデータセンター全景 ▼



■ PVマキシマイザーを活用した高効率直流接続の蓄電システム

太陽光発電で生み出した電力をPVマキシマイザーで制御し直流バスへ供給します。この際に、データセンターで使いきれない余剰電力を鉛蓄電池に充電し、夜間や雨天時など発電量が不足する場面に放電します。直流接続により、交流と直流の変換回数を減らすことで、電力変換によるロスを低減し、再生可能エネルギーを効率よく活用しています。

システム構成図



再エネデータセンターにも最適なPVマキシマイザー http://www.nipron.co.jp

Interview

製品を導入頂いた理由や、導入後の様子等について代表取締役の勅使河原様にお話を伺いました。

株式会社アガタ　代表取締役　勅使河原 有佑 様





富岡再エネデータセンターの概要や企画コンセプト、主な取組みについて教えてください。

富岡市は震度4以上の地震が極めて少なく、BCPの観点から優れた立地となっています。建物は地元群馬県産の木材を使用しており、不燃材で挟む構造を採用することで、安全性と地産地消を両立しながら、再エネによる自家発電を活かした電力供給体制の構築をコンセプトに運営しています。「自分たちでできることは自分たちでやる」をモットーに床の施工やロッカー設置、芝管理、フェンス施工までを社員自らこだわり抜いて作り上げたデータセンターです。

ニプロンの製品を導入頂いた理由を教えてください。

データセンターの電力システム構築において、交流と直流を繰り返し変換する一般的なUPS方式ではなく、直流接続による高効率な電力供給を実現したいという強い要望がありました。複数社を調査する中で紹介されたのが、ニプロンのPVマキシマイザーでした。同製品は、太陽光発電特有の出力ばらつきを一定化する独自コンセプトを備えており、当社が抱えていた課題に完全に合致していました。さらに、他社には存在しない電圧制御技術を有していたことから、当社の要求仕様を満たす唯一の選択肢となりました。

ニプロンの製品を導入して良かったところを教えてください。

PVマキシマイザーのストリングごとに個別に最大電力点を追従することで、太陽光発電のばらつきを抑え、安定した直流出力を確保できる点に高い価値を感じました。この特性により、当時弊社が抱えていた太陽光発電の出力変動という課題を的確に解決でき、導入の決め手となりました。また、初回納品時に輸送トラブルが発生した際、迅速かつ誠実に対応してくれたことは、技術面だけでなくサポート体制の確かさを実感する出来事でした。こうした技術と対応の両面で信頼を深めることができ、導入して良かったと強く感じています。

ニプロンとPVマキシマイザーにどのような印象を持たれましたか？

PVマキシマイザーの安定した直流出力を、そのまま蓄電池へ充電することにより、電力変換によるロスを抑えられる点に他社製品との明確な違いを感じました。当時、当社が抱えていた技術的な悩みを的確に解決してくれた唯一の製品であり、その技術力には強い信頼を寄せています。また、営業担当者との打ち合わせで意気投合したこともあり、技術面だけでなく、人の面でも信頼を深めることができました。こうした技術とサポートの両面での確かな支援が好印象であり、導入を決断する大きな要因となりました。

今後のCO_2排出量の削減に対する貴社の取り組み、目標を教えてください。

再エネによる自家発電と地産地消の運用を軸に、CO_2削減と事業成長を両立するモデルを強化し、設備増設や新設時には再エネ比率をさらに高め地域の電力効率向上にも貢献できる体制を構築していきます。また、新事業であるチャットボット事業との組み合わせによる再エネとデジタルの新たな価値創出を進め、富岡市を中心とした地域循環型デジタルインフラの確立を長期目標として持続可能な地域づくりを目指してまいります。

データセンターへの世間の反応はいかがでしょうか？

運用開始から1年が経過し、地元企業様を中心に利用が増加しています。大手の企業や特許関連で興味を持っていただいた企業が視察に訪れる機会も増え、自家発電による安定供給が高く評価されていると感じています。都心部の電力不足問題等への関心も高まり、導入まで年単位の調整が必要な業界ですが、着実に利用企業様が増えていますので、事業として確かな手応えを実感しています。

株式会社アガタ 様

株式会社アガタ様は、自然エネルギーを産業と融合させる理念のもと、放棄農地を太陽光発電施設として再活用し、地域に還元できる仕組みづくりを目指されています。
人間が想像できるものはいつか実現できるという信念のもと、効率向上が進む太陽光発電を長期的なエネルギー基盤として位置づけておられ、FIT需要低下で従来のモデルが通用しなくなる中でも、森を極力伐採しない自社運営方針を貫き、自然を損なわずにエネルギーを生み出す事業を推進しています。

株式会社アガタ様 ホームページ
https://agata-corp.com/

富岡再エネデータセンター紹介サイト
https://tomioka-dc.agata-corp.com/

ホームページ　データセンター


(絵:たかやま ゆうこ)

ご要望に応じて最適なシステムをご提案します http://www.nipron.co.jp

✦ SFX SIZE

✦ 大容量

2026年10月 発売予定

SFXL-700P-S

連 続 575W

ピーク 700W

W125 × H63.5 × D125 mm



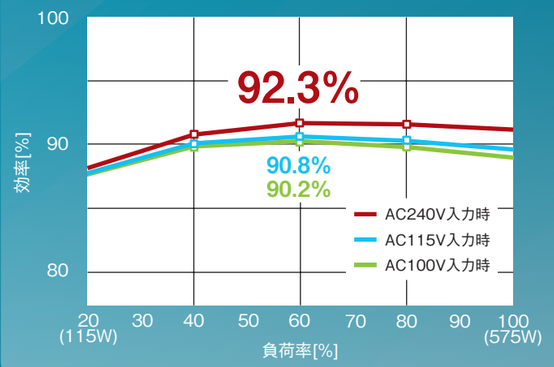
高効率

AC240V入力で92.3% typ.の高効率を実現。高効率化により、高負荷環境においても安定した電源供給を維持し、効率的なシステム運用を支えるだけでなく、電力損失を低減することで省エネとCO_2排出量削減にも貢献します。

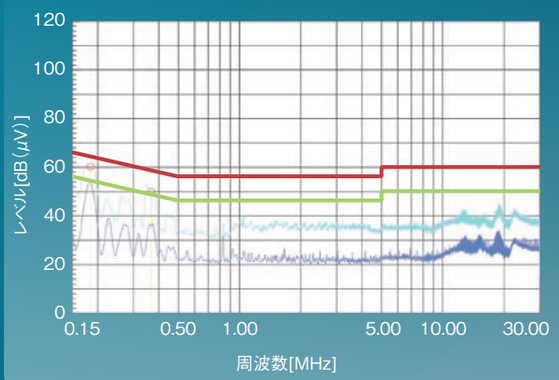
低ノイズ&低漏洩電流

ノイズフィルター回路の強化や部品配置の最適化などにより、雑音端子電圧は電源単体でもVCCI Class Bをクリア。外部にノイズフィルターを設置する必要が無く、コストダウンと工数負担削減に貢献します。

効率グラフ （実測の一例）



雑音端子電圧 入力:AC110V 出力:定格負荷 （実測の一例）



各種安全規格対応

UL62368-1
CSA62368-1
IEC 62368-1

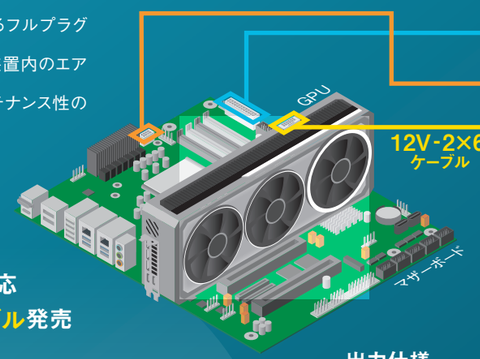
漏洩電流 （実測の一例）

	定格負荷	最小負荷
AC100V	0.19mA	0.18mA
AC264V	0.49mA	0.49mA

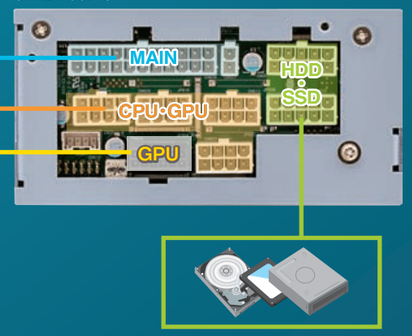
ピーク出力700W対応 大容量の新型SFX電源 http://www.nipron.co.jp

フルプラグイン仕様

必要なケーブルのみを接続できるフルプラグイン仕様。配線の最適化により、装置内のエアフローを妨げず組み立て性とメンテナンス性の向上に貢献します。



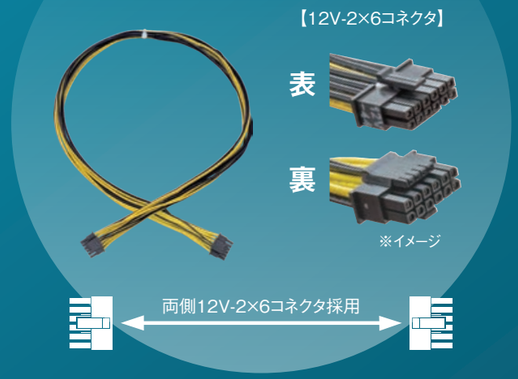
SFXL-700P-S



SFXL-700P-Sに対応

12V-2×6ケーブル発売

型式：WH-G1616-500



出力仕様

出力電圧	+3.3V	+5V	+12V	-12V	+5VSB
連続最大電流/電力	12A	16A	47.5A	0.2A	3A
	39.6W	80W	570W	2.4W	15W
	合計 83W				
	合計 570W				
	合計 575W				
ピーク電流/電力(5秒以内)	16A	16A	57A	0.2A	3.5A
	52.8W	80W	684W	2.4W	17.5W
	合計83W				
	合計685W				
	合計700W				

高品質・高信頼のものづくり

独自の熱解析シミュレーションを活用した部品の最適なレイアウト設計を行い、安心・安全にこだわり、国内で生産しています。

また、世界中のお客様が電源に求める様々な要求に応えるため、評価試験を徹底的に行い、弱点を炙り出して改善することで定格出力で24時間365日の過酷な長期運用に耐える高信頼性を実現しました。

従来品比で約2倍の電力密度を実現

SFXL-700P-SはHPCSF-400Pと比較し、約1.85倍の電力密度を実現。

組み込み機器の小型化に貢献します。

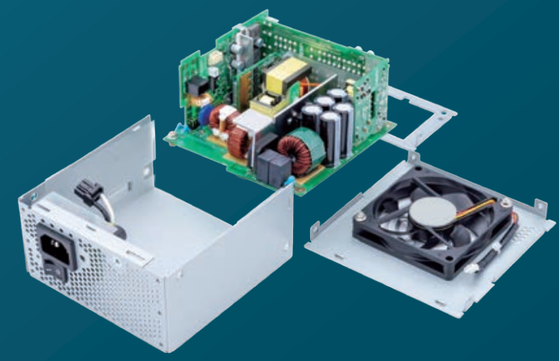
当社従来品
HPCSF-400P-X2S1
連 続：310W
ピーク：400W



同サイズで 265W容量UP

SFXL-700P-S
連 続：575W
ピーク：700W







大型ファン採用で静音性を向上

80mm大型ファンの採用により、低回転でも高い冷却性能を確保。動作音を抑えながら安定動作を実現します。

高効率で低ノイズ・低漏洩電流を実現 http://www.nipron.co.jp

GPRA-2000

開発中

定電圧動作時
出力電力 2000W AC230V

定電流動作時
出力電力 2200W AC230V typ.

定格入力 AC100-240V

定格電圧 24/48V

他電圧：72/100V、高電圧タイプ：240V/400Vもラインアップ予定



高い電力密度を実現

GPRA-2000シリーズは、当社従来品GPSA-1500シリーズと比較し、約62%高い電力密度を実現しています。そのため、同等のスペースでより効率的な電力供給が可能です。

型式	GPSA-1500	GPRA-2000
電力密度	0.572W/cm³	0.923W/cm³
定格出力電力	1500W typ.	2200W typ.
外形サイズ (W×H×D)	82×128×250 mm	127×63×298 mm



約1.61倍の電力密度に

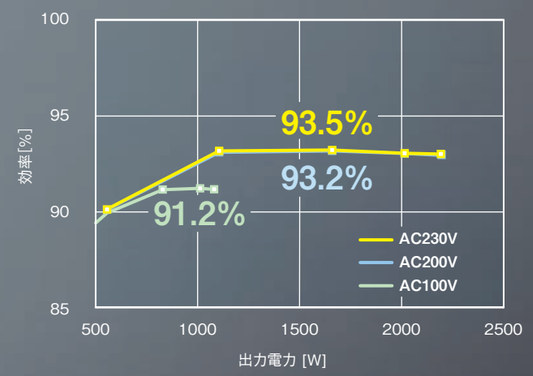


GPSA-1500　　GPRA-2000

電力損失削減で低発熱を実現

AC230V入力時最大約93%の高効率を実現。発熱を抑制し、熱対策に掛かる工数・コスト削減に貢献します。

■効率グラフ　（GPRA-2000-48、実測の一例）



製品仕様

出力電圧	+24V	+48V	+12VSB (共通仕様)
出力電圧可変範囲	18V～27.6V	36V～55.2V	-
定電圧動作 最大電流/最大電力(連続) AC100V	42A	21A	0.15A
	1008W	1008W	1.8W
定電圧動作 最大電流/最大電力(連続) AC230V	84A	42A	0.15A
	2016W	2016W	1.8W
定電流動作 定格電流/定格電力(連続) AC100V	46A	23A	0.15A
	1104W	1104W	1.8W
定電流動作 定格電流/定格電力(連続) AC230V	92A	46A	0.15A
	2208W	2208W	1.8W
最小電流	0A	0A	0A

その他特長

- 各種信号を標準搭載（AC_FAIL/PWR_OK/PS_ON）
- 外部電圧入力による出力電圧（20%～100%）出力定電流（20%～100%）制御が可能
- 高調波電流規制対応（IEC61000-3-2 準拠）
- 補助電源を搭載（12V/0.15A）
- 並列運転による容量アップ（3台まで）直列運転による高電圧出力化が可能（3台まで）
- 出力は定電圧/定電流動作
- 三相入力モデルも開発予定（三相AC200V）

※ 掲載製品は開発中のため記載している仕様、外観などは予告なしに変更することがあります。

電力損失削減で、高効率・低発熱を実現　*http://www.nipron.co.jp*

GPSU-800/1500P

開発中

連続出力 800W

ピーク出力 1200-1500W

定格入力 AC100-240V

定格電圧 24/48V



小型大容量

当社従来品GPSA-600と比較し、体積を約40%削減し、電力密度を約2.26倍に向上しました。



GPSA-600
電力密度 0.34 W/cm³
連　続: 600W
ピーク: 1200W (AC100V時) 1440W (AC200V時)
サイズ: 128×61×240 (W×H×D) mm

約2.26倍の電力密度に

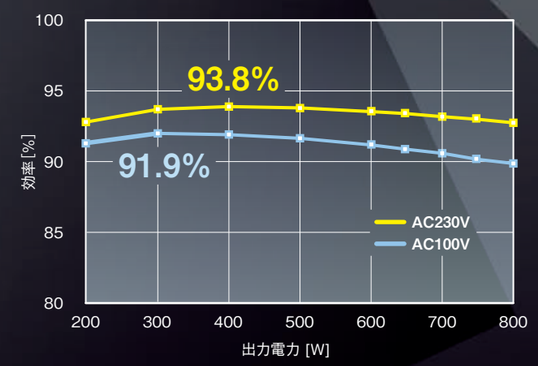


GPSU-800/1500P
電力密度 0.77 W/cm³
連　続: 800W
ピーク: 1200W (AC100V時) 1500W (AC200V時)
サイズ: 127×41×200 (W×H×D) mm

高効率設計による低発熱を実現

高効率回路を採用し、最大効率約94%を実現。発熱の低減により、装置の小型化と高信頼化に貢献します。

■効率グラフ　（GPSU-800/1500P-24、実測の一例）



製品仕様

出力電圧	+24V	+48V	+12VSB※ (オプション)
最大電流/ 最大電力(連続)	33.4A	16.7A	0.85A
	801.6W	801.6W	10.2W
ピーク電流/ ピーク電力(5秒以内) AC100V	50A	25A	0.85A
	1200W	1200W	10.2W
ピーク電流/ ピーク電力(5秒以内) AC200V	62.5A	31.25A	0.85A
	1500W	1500W	10.2W
最小電流	0A	0A	0A
安全規格	UL62368-1,CSA62368-1(c-UL)取得予定 EN62477-1 OVCⅢ準拠 CEマーキング,UKCAマーキング対応予定 電安法(省令2項)準拠 SEMI-F47準拠（入力AC200V）		

※ スタンバイ出力はGPSU-800/1500P-**/S12-***のみ対応

薄型1Uサイズ

小型・薄型化を実現。高さ41mmで1Uラックへの組み込みが可能です。



その他特長

- スタンバイ電源付き（オプション）
- コンデンサユニット接続による瞬停対策が可能（オプション）
- 医療規格IEC60601-1対応モデルをラインアップ予定
- ナイロンコネクタタイプをラインアップ予定
- ファンの吸い込み/吐き出し2タイプをラインアップ
- 温度検出型可変速ファン内蔵

※ 掲載製品は開発中のため記載している仕様、外観などは予告なしに変更することがあります。

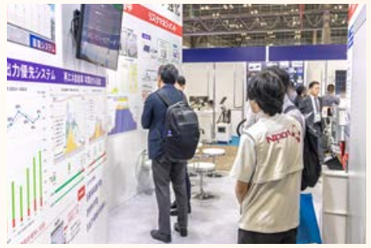
小型＆大容量化を実現！組み込み時の省スペース化に貢献　*http://www.nipron.co.jp*

展示会出展のご報告とご案内



第23回［秋］太陽光発電展に出展いたしました。







2026年9月9日～11日の3日間、幕張メッセにて開催された「第23回［秋］太陽光発電展」に出展いたしました。ニプロンブースには、多くの企業や事業者の皆様にご来場いただきました。

今回のニプロンブースでは、主にPVマキシマイザー、ペロブスカイト/カルコパイライト太陽電池、PV Oasisやマルチ EV充電器を展示いたしました。その中でも特にご好評いただいたのが、次世代の太陽電池とされるペロブスカイト太陽電池と、太陽電池の発電効率を最大化させるPVマキシマイザーのご提案でした。また、本誌p.5-6に掲載の太陽電池の壁面設置についての展示に興味を持ってくださるお客様が多くおられ、製品のご提案や意見交換を行うことができました。

今回の展示会では、ニプロンの製品や取り組みなどを幅広くご紹介し、ニプロンの提案するソリューションを広くお伝えすることができました。
ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

第14回［関西］太陽光発電展に出展いたします。

PV EXPO 関西
第14回 関西 太陽光発電展

会期：2026年11月18日（水）～11月20日（金）
会場：インテックス大阪 6号館Dゾーン ブース番号：SD4-37

2026年11月18日（水）～11月20日（金）の3日間、インテックス大阪にて開催される「PV EXPO関西 第14回［関西］太陽光発電展」へニプロンは出展いたします。本展示会はカーボンニュートラル実現のための日本最大の専門展です。

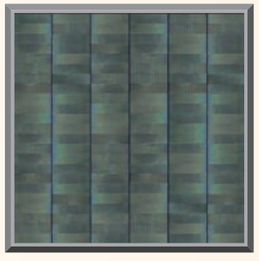
上記の幕張展でもご好評いただいたペロブスカイト太陽電池に加え、国産カルコパイライト太陽電池やPVマキシマイザーの屋内設置型の詳細について、弊社の新事業所建屋の建設イメージとともにご紹介いたします。さらに、現在開発中の、EVを「移動する蓄電池」として活用できるV2X対応EV充電器についてもご紹介いたします。そのほかにも、電気料金の削減が可能なPV Oasisのデマンド抑制機能などのご紹介も予定しており、EV普及・エネルギー危機・BCP対策といった社会課題に応える製品・ソリューションを中心にご提案いたします。

ぜひニプロンのブースにお立ち寄りいただき、最新のソリューションをご体感ください。

▼新事業所建屋イメージ

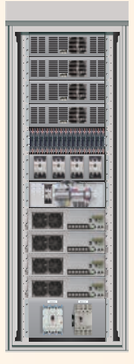


▼カルコパイライト太陽電池





◀省スペース型マルチEV充電システム



◀屋内設置型PVマキシマイザー

多種多様な電源を取り揃えています！まずはご連絡を！ http://www.nipron.co.jp

営業・管理/製造部門 生産性改善発表大会



営業・管理部門/製造部門の生産性改善発表大会を開催いたしました。

6月12日に営業・管理部門、7月14日に製造部門による生産性改善発表大会が行われました。発表大会には、営業・管理部門10チーム、製造部門9チームが参加し、行った業務の改善活動や成果を発表しました。厳正な審査の結果、それぞれの部門で上位3チームが表彰されました。



○ 営業・管理部門

金賞 販売管理部
発表テーマ「支払条件登録の適正化と取引方法最適化による債権管理強化」

銀賞 総務人事部
発表テーマ「研修制度の創設」

銅賞 経営企画部
発表テーマ「経理未経験者の視点を活かした業務手引きの仕組化」


金賞 販売管理部


銀賞 総務人事部


銅賞 経営企画部

○ 製造部門

金賞 HDF製造部 ATX電源製造課 組立係
発表テーマ「品質改善の取り組み」

銀賞 HDF製造部 大型電源製造課 組立係
発表テーマ「補材管理と発注看板のシステム再構築」

銅賞 MSDF製造部 汎用電源製造課 基板実装係
発表テーマ「ATからSTへ『基板実装係のワークライフバランス』」




金賞 HDF製造部 ATX電源製造課 組立係


銀賞 HDF製造部 大型電源製造課 組立係


銅賞 MSDF製造部 汎用電源製造課 基板実装係

営業・管理部門、製造部門ともに今後も改善活動を続け、お客様の満足度向上を目指します。

「電源に困った時」ニプロンにご相談下さい http://www.nipron.co.jp

会長のニプロンを語る!!

執筆18年。感謝を込めて、バトンを託す

Nipron Waveをお読みいただいている皆様、いつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

ニプロンを創業してから、約60年の歳月が流れました。振り返れば、ニプロンは私にとって人生そのものであり、もう一人の我が子のような存在です。

電源という技術の可能性に夢を託し、今日まで走り続けてこられましたのは、ひとえにお客様、パートナー企業様、そして共に汗を流してくれた社員とそのご家族の皆様のおかげです。

Nipron Waveの最終ページにて「ニプロンを語る」の執筆を始めたのは平成20年（2008年）、第11号のことでした。以来18年間にわたり、ニプロンの技術へのこだわりや経営への想い、そして未来への情熱を皆様にお届けしてきました。



本社・阪神夢工場5階 展示場内 Nipron Waveコーナー

私自身、「何としても第100号まではこの手で書き続ける」という強い意気込みで筆を走らせてきましたが、近頃は病の影響もあり、万全の体調で執筆を続けることが難しくなってきました。

そこで、9月の定時株主総会を節目とし、この「ニプロンを語る」のバトンを、新社長に就任いたしました川北英人氏へ託す決断をいたしました。

一時期は私が再び社長職を兼任するなど試練の時期もありましたが、副社長として私を支え、現場と経営を力強く牽引してくれた川北社長の存在があったからこそ、私も安心して次の時代へとバトンを渡すことができます。

私自身はこれからも会長としてニプロンの行く末を温かく見守っていきますが、この名物コラムの執筆は、本第85号をもって最後とさせていただきます。長きにわたり、拙い文章にお付き合いいただき、温かいお声をかけてくださった皆様に心より深く御礼申し上げます。

ニプロンはこれからも川北社長のもと、尼崎の地から世界へ、信頼性の高い電源技術と感動をお届けできるよう努めてまいります。どうか今後とも、変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

令和8年10月　酒井 節雄

令和8年7月1日、弊社第46期のスタートから代表取締役社長（COO）に就任しました川北英人でございます。何とぞ、宜しくお願い致します。

私は、給湯器メーカー、NPS研究会を経て2013年3月、ニプロンに執行役員・阪神夢工場工場長として入社しました。以来、生産調達部門の責任者として、ジャストインタイムの考え方に基づき、必要時、必要品を必要量、お客様に安定してお届けできるよう「QDC」の改善に専念してきました。一般的には「QCD」の順ですが、弊社では、品質・納期を最優先し「QDC」の考え方を社内に留まらず、部品調達先とも共有してサプライチェーンの強化を図っています。現在、主としてAI・データセンターに起因する半導体製造装置、工作機械の需要の急拡大や船舶用機器の需要の高まりなどから、想定を上回るご注文を頂いています。原材料、部品の調達環境が非常に厳しくなる中、品質は勿論のこと、納期でお客様にご迷惑をお掛けすることがないよう取組んで参りますので、引き続き、ご高配を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

令和8年10月　川北 英人

Nipron Wave バックナンバーはこちら
https://www.nipron.co.jp/extra/nipronwave.html

人材募集

- グリーン電源関連経験の営業・技術者

弊社人事部までご連絡下さい。
TEL:06-6430-1101

株式会社ニプロン http://www.nipron.co.jp

■東部営業部	TEL:044-752-1106	〒213-0022 神奈川県川崎市高津区千年622番地1
■西部営業部	TEL:06-6487-0605	〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
■名古屋営業所	TEL:052-602-4411	〒461-0040 愛知県名古屋市東区矢田1丁目9番29号 栄ビル1階C号
■グリーンパワー営業部	TEL:06-6487-0611	〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
■首都圏オフィス	TEL:070-1573-2975	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目4-6 マスニ第一ビル 5階
■Web問合せ	E-mail:support@nipron.co.jp	